

# 令和5年度 第3回草加市環境審議会会議録（概要版）

## 1 開催日時

令和5年(2023年)12月6日(水) 午前10時～12時

## 2 開催場所

草加市役所本庁舎 災害対策室A・B

## 3 出席者の氏名

- (1) 委員 石坂会長、渡邊（明海）副会長、高野委員、石山委員、大湊委員、渡邊（明男）委員、小林委員、宮田委員、田中委員、石井委員、西谷委員、前田委員
- (2) 事務局 平木副部長（兼）環境課長、谷口環境課課長補佐、須永公害対策係長、松田環境推進係長、梅澤環境推進係主任、田端環境推進係主事
- (3) 委託業者 リバー株式会社

## 4 会議の次第

- (1) 開会
- (2) 傍聴人について
- (3) 会長あいさつ
- (4) 会議録の署名委員について
- (5) 審議等
  - ① 章立て見直し経緯及び会議等での意見と対応
  - ② 環境基本計画等（素案）の概要等の説明
  - ③ 前回会議からの主な変更点及び基本計画部分の更新内容等の説明
  - ④ 生物多様性そうか戦略部分の更新内容等の説明
- (6) その他
- (7) 閉会

## 5 公開・非公開の別

公開

## 6 傍聴者数

1人

## 7 審議の結果

- (1) パブリックコメント等に向けたスケジュール並びに第二次草加市環境基本計画（第三版）及び生物多様性そうか戦略（第二版）素案の修正箇所等について説明を行った。
- (2) 上記素案について、各委員から意見が述べられた。

## 8 主な意見

- (1) 章立て見直し経緯及び会議等での意見と対応
  - ・ 前回の審議会でのご意見や草加環境推進協議会等での意見を受け、基本計画とそうか戦略の共通部分を I として抜き出した旨等について説明した。
- (2) 前回会議からの主な変更点及び基本計画部分の更新内容等の説明
  - ・ 目標設定について、良い方向に改善することが数字にも表れるように修正されている。
  - ・ エコライフデイについて、電子化によって大半の自治体の参加人数がかなり減っている。目標をCO2削減量とするか、ボリュームをどうするか等、事務局で調整する。
- (3) 生物多様性そうか戦略部分の更新内容等の説明
  - ・ そうかの生きもの調査における生物多様性の規模等のトレンドについて、現状は毎年度の個別調査の集計なので、データとしては信憑性が低いらいがある。直近では、5年間の報告を「そうか生きもの調査報告書2016-2020」としてまとめた。
  - ・ 表3-2-1「自然環境類型別にみた生物多様性保全上の主な課題」等について、「知る」項目が少ないが、大事になってくると思う。情報発信や研修、勉強会等の、知識を得る場がもっとあってほしい。今まで関心がなかった人を引き込むことも必要だと思う。
  - ・ 学校ビオトープ等の維持管理を行うには、専門的な人手と予算がかかるものだと認識している。前向きな対策を行わなければならない。  
教育委員会とも相談しているが、現状は把握できておらず、維持管理が進んでいない。持続可能なやり方で取り組める方法を模索していきたい。  
環境教育の一つとして使用されているのかも確認してほしい。
  - ・ 生きもの調査や学校ビオトープの現状は、ボランティアに頼ってきた今までの流れでは管理等が難しくなってきたことの表れだと思う。ボランティアを増やす講習を行う等の対策をしていかないと、先細ってしまう。人材育成を具体的に進めていかないといけない時期に来ている。こういった素地を市

の中で作っていかないと、環境が守られていかないとと思う。

質疑書に対する回答では、もの足りない。自分たちの団体でも、人材を増やす努力はしなければいけないのは大前提だが、今までと同じことをやっていたはいけない。5年先、10年先の人材を増やし、指導者を増やすためにも、今、新たな種を蒔いていかないといけない。

- ・別の協議会等からの意見でも、積極的にSNSを利用して、まず知ってもらうことが大事という意見があった。ホームページや広報誌以外の媒体からも、市の環境施策を情報発信していきたいと考えて、現計画にSNS等の情報発信を追記した。
- ・クビアカツヤカミキリの駆除件数等の表について、おそらく対策が追いついていないということが言えると思う。生きものなので一概に捉えられない部分があることも被害拡大の理由の一つとしてあると思うが、対策を行っている効果も一部出ていると考えている。表4-2-1「指標・目標と施策展開イメージ」の記述は実態と合っていない部分があるので、表記等について事務局で調整する。

クビアカツヤカミキリは物凄い数で広がっていくので、現時点の駆除件数等の表を載せる意味はないと思う。被害発覚当時は、桜に対する市民感情等もあり、伐採できなかったという経緯があったが、極端に言うと、クビアカツヤカミキリを根絶させるためには、木を全部切らなければならないと思う。

- ・会社のビオトープは、造園業者と年間契約を結んで維持管理している。会社もだが目的がなければ決裁がおりず、学校ビオトープも作った以上は継続して授業で活用する等でなければ、予算執行してはいけないものだと思う。将来の理想的な姿を入れたい。地域の方や子どもたちが連携しながらビオトープを維持管理していくような仕組みを作っていかなければいけないと思う。
- ・小・中・高校の環境教育・出前講座等を行うと、興味を持つ子どもたちが出て来ると思う。人材育成の内容をしっかりと書き込んでほしい。

他市等では、学校ビオトープ等の維持管理についての話は聞かないので、草加は意識が高いと思う。これを何とかしようという環境であることがまず素晴らしい。

- ・施策1-1-1「生物多様性に関する情報の発信」に関して、基本計画では自然共生サイトの認定という目標が前回会議から検討の末になくなっているが、ホームページやSNSを利用した情報発信等に力を入れてほしい。
- ・基本計画において、前回の計画見直しの時も、短期目標値をクリアしていないが個別の各所属の評価ではA評価になっているものがあった。全体の短期目標値も、各所属の目標（実施計画）も、練り直すなり追加項目を入れるなりしなければ、クリアできないと思う。

これまでのような、年1回、審議会で主に評価結果のみをチェックいただくPDC Aの方法等を、事業状況をより詳細に評価いただき改善に繋げる、より効果的なマネジメントシステムになるように事務局で見直していく。

- ・短期目標値設定等に際しての実績値は、コロナ禍を考慮した方が良い。
- ・おそらく一番出た意見として、環境人材の育成について、いろいろな主体がみんな協力して人材育成に取り組むという姿勢を示していただきたい。

## 9 審議の概要

詳細な会議録は、市役所情報コーナーで公開する。